

# 北見武道通信

令和6年9月12日 00708号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

[satou.tosiharu@navy.plala.or.jp](mailto:satou.tosiharu@navy.plala.or.jp)

## ニュースレター【事務局情報】 武道館に簡易スクリーンロールが設置可！

「道場1」「道場2」「道場3」に簡易スクリーンロールがワンタッチで取り付けることが可能になりました。これにより、研修室の固定式プロジェクターに加え各道場でもプロジェクターが使えるようになりました。〈佐藤〉

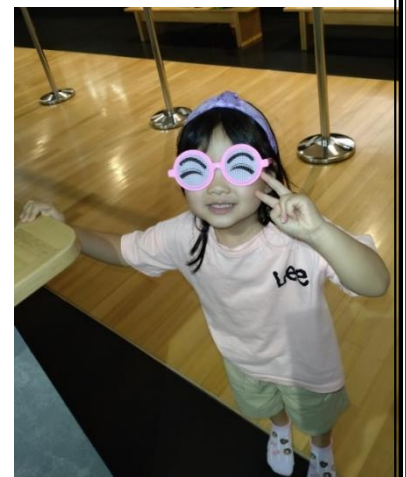


## 第28回北見市総合武道祭の紹介⑩ フラダンス 6月15日レイアロハフラ北

見によるフラダンスが特設会場で披露されお大勢の観客を楽しませてくれました。

### 小さなお客様！

柴田 桜好  
ちゃん  
毎週水曜日



と木曜日は北見練心会の練習日です。練心会少年部に所属する兄の柴田一誠くんの妹、柴田桜好（さくらこ）ちゃんが一誠くんの応援を兼ねて可愛いメガネをかけ受付窓口に来てくれました。〈佐藤〉

### 武道館スタッフ愛子の作品展シリーズ

武道館スタッフ織田愛子展 ※お題は「ちいかわキャットタワー」北見市武道館事務室受付前に展示



### 連載 中国「老子」の思想 五十五章 生に執着すれば死を招く

生死はいわば出入である。「無」から「有」に出れば生、「有」から「無」になれば死。生も死も、ひとしく「道」の現れで、本質的な差はないのだ。生物には、長命なものもあれば短命なものもあるが、生死はそれぞれに自然である。だが、生物の中でも人間だけは、死期が来ていないにもかかわらず、みずから死を招くことがしばしばある。それはなぜか。人間が生に執着しすぎるからなのだ。こんなことばがある。「寿命を全うする者は、山野を旅しても猛獣に襲われず、戦に出てもけがをしない」たしかに、猛獣も危害を加えようがなく、<sup>とうそう</sup>刀槍も傷を負わせようがないのだ。それはなぜか。生に執着せぬ者には、死の入りこむ余地がないからである。

原文: 出生、入死。生之徒十有三、死之徒十有三。人之生、動之死地亦十有三。夫何故。以其生生之厚。蓋聞、善攝生者、陸行不遇兕虎、入軍不被甲兵。兕無所投其角、虎無所措其爪、兵無所容其刃。夫何故。以其無死地。五十一章に続く